

# Install FAX Service

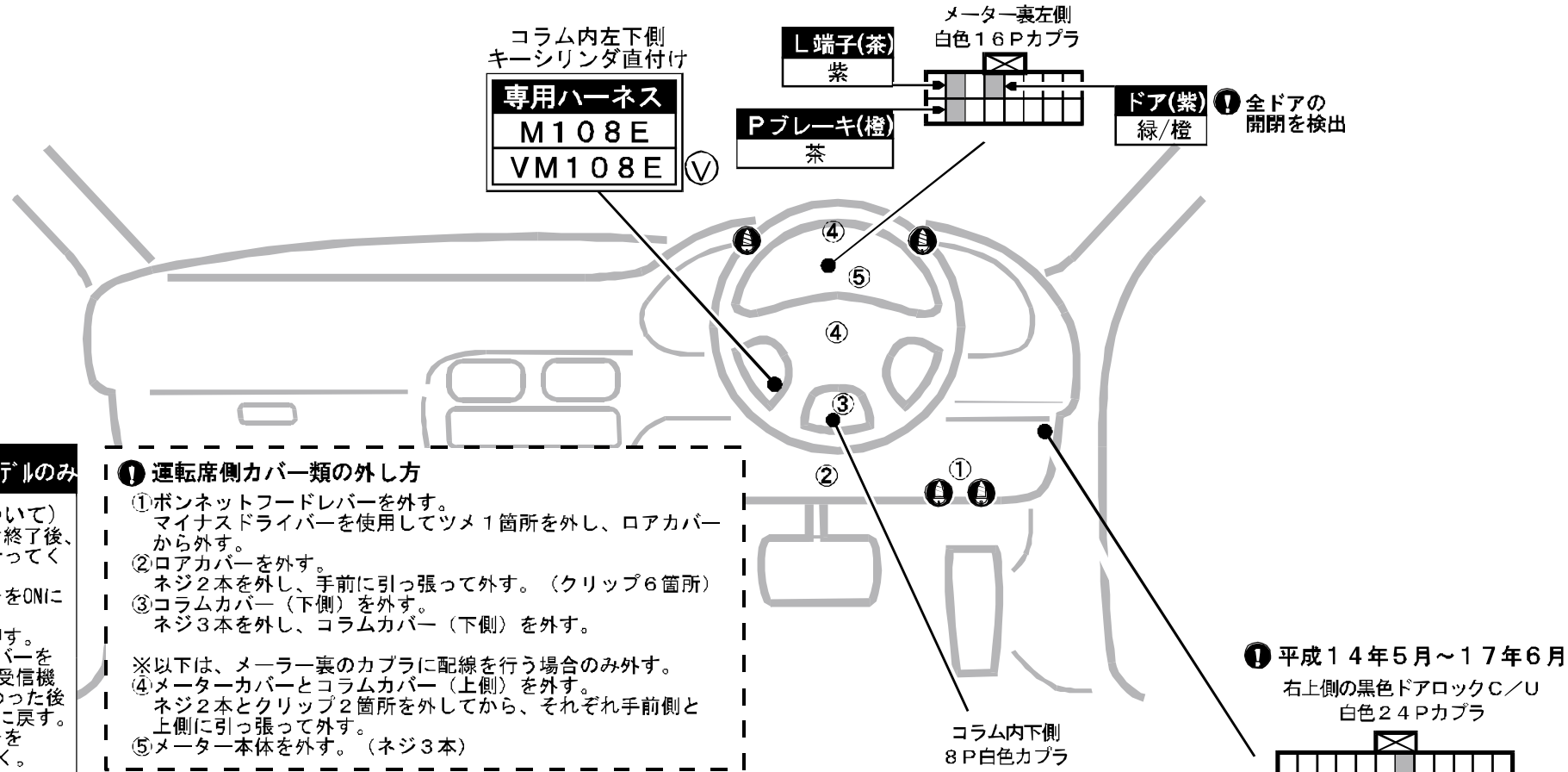
ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成14年 5月31日 作成  
平成19年 9月 1日 更新

BOX No.140605

|      |          |          |     |        |            |      |                |
|------|----------|----------|-----|--------|------------|------|----------------|
| 車両情報 | マツダ アテンザ | 平成14年5月～ | GG系 | 1/2ページ | ES-89Light | Type | N.L.           |
|      | アテンザ ワゴン | 平成14年5月～ | GY系 |        |            | Opt. | ※2/2ページの注意事項参照 |

① イモビライザー無し車のみ



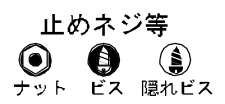
### A/T車設定が必要な行のみのみ

- (A/T車設定作業について)  
配線・受信機取り付け終了後、  
下記の手順で設定を行ってください。
- ① 車両のキースイッチをONにする。
  - ② リモコンでSTOPを押す。
  - ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
  - ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
  - ⑤ 設定完了。

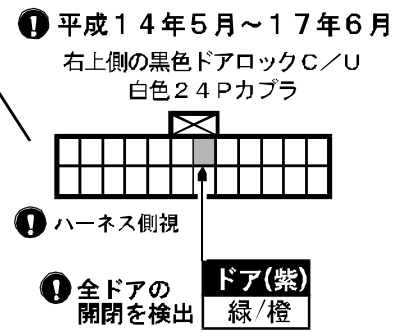
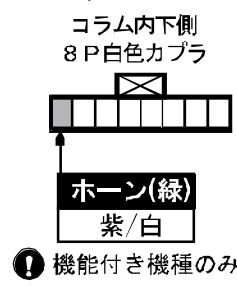
※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)  
車両配線色

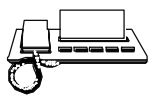
- ### ① 運転席側カバー類の外し方
- ① ボンネットフードレバーを外す。  
マイナスドライバーを使用してツメ1箇所を外し、ロアカバーから外す。
  - ② ロアカバーを外す。  
ネジ2本を外し、手前に引っ張って外す。(クリップ6箇所)
  - ③ コラムカバー(下側)を外す。  
ネジ3本を外し、コラムカバー(下側)を外す。
- ※以下は、メーター裏のカプラに配線を行う場合のみ外す。
- ④ メーターカバーとコラムカバー(上側)を外す。  
ネジ2本とクリップ2箇所を外してから、それぞれ手前側と上側に引っ張って外す。
  - ⑤ メーター本体を外す。(ネジ3本)



① ドアロック/アンロックの取り付けについては、  
2/2ページを参照してください。  
年式により、ドアロック/アンロックの取り付け  
方法が異なります。



① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成14年 5月31日 作成  
平成19年 9月 1日 更新

BOX No.140605

|      |          |          |     |        |            |      |                |
|------|----------|----------|-----|--------|------------|------|----------------|
| 車両情報 | マツダ アテンザ | 平成14年5月~ | GG系 | 2/2ページ | ES-89Light | Type | N.L.           |
|      | アテンザ ワゴン | 平成14年5月~ | GY系 |        |            | Opt. | ※2/2ページの注意事項参照 |

① イモビライザー無し車のみ

**配線内容(受信機CN2線色)**  
車両配線色

① 注意事項  
年式により(平成17年6月のマイナーチェンジ前後で)取り付け方法が異なります。(別売オプション)

平成14年5月~17年6月...マツダ用ドアロックハーネス(EP087)が必要。  
平成17年6月~...ドアロックリレーNLⅢ(EP070)が必要。

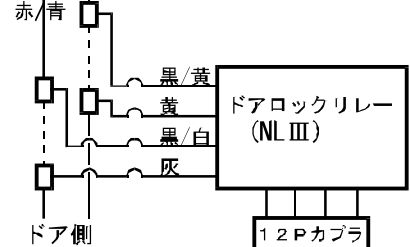
① 平成17年6月~

ドアロック・アンロック

左サイドのBCM内  
奥の上から2番目  
白色8Pカブラ



① ドアロックリレーNLⅢが必要です。



----部は車両配線をカットする

① 使用上の注意事項

平成17年6月~の車両は、エンジンスターターによるドアロック/アンロックの操作で、バックドアのみ連動しません。(フロントドア2枚とリアドア2枚の、ロック/アンロックが作動します。)

理由：車両側ドアロックシステムのシステムが、上記の連動しない部分のみ別システムになっているため。

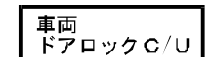
① 平成14年5月~17年6月

ドアロック・アンロック

右上側の黒色ドアロックC/U  
白色24Pカブラ

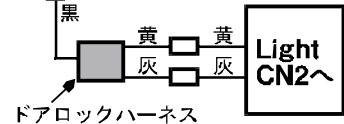


L出力(黒)  
端子差し込み (L)



24P白色カブラ

① 端子差し込み



① マツダ用ドアロックハーネス(別売)を使って配線します。  
L出力(黒色線)は、上図の白色24Pカブラを外してから、指定した位置に端子を確実に差し込んでください。  
(ディーラーオプションの手ぶらキースレス装着車は、既に差し込み先に配線があるので、端子を切断してエレクトロタップにて割込接続してください。)

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

## ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、Ⓥの表示をしてあります。

左記の場合、VM108EがVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

## ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

### ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。